

茨城県警察業務説明

～警察行政職員編～



茨城県警察

本日の説明内容について

1.警察官と警察行政職員

2.茨城県警察の組織

3.警察行政職員の業務

4.勤務条件・福利厚生

5.警察行政職員 Q & A

茨城県警察で働く職員は？



① 警察官...約4,850人

法律に基づき、

- ・人の生命、身体、財産を守る
- ・犯罪捜査、逮捕、治安維持

を行うことが仕事

② 警察行政職員...約550人

行政事務の面から警察活動を支えるエキスパート

- ・組織運営、会計業務、情報管理など
- ・多種多様な分野で能力発揮



茨城県警察の組織図



茨城県知事（所轄）

公安委員会（管理）

茨城県警察本部

- ・本部 6 部門（38所属）
- ・警察学校
- ・警察署 27 署

警務部

総務課
警務課
厚生課
会計課
装備施設課
教養課
情報管理課
留置管理課
監察室
県民安心センター

生活安全部

生活安全総務課
人身安全少年課
生活環境課
サイバー犯罪対策課

地域部

地域課
通信指令課
自動車警ら隊

刑事部

刑事総務課
捜査第一課
捜査第二課
捜査第三課
組織犯罪対策課
国際捜査課
薬物銃器対策課
機動捜査支援課
鑑識課
科学捜査研究所

交通部

交通総務課
交通指導課
交通規制課
運転免許センター
交通機動隊
高速隊

警備部

公安課
警備課
外事課
機動隊

サイバー戦略推進室

警察学校

警察署

茨城を守る8つの組織

警務部



警察組織運営の中核

- ・警察職員の採用・人事
- ・組織の再編整備
- ・福利厚生
- ・予算編成・執行
- ・装備品の整備

生活安全部



安全安心なまちづくりを推進

- ・犯罪情報の発信、防犯活動
- ・少年の非行防止
- ・サイバー犯罪対策
- ・DV・ストーカー対策等

地域部



平穏な日常のため県民の一番近くで安全安心を守り続ける

- ・地域安全活動
- ・パトロール活動
- ・事件・事故現場の初動対応
- ・110番通報の受理
- ・鉄道警察隊

刑事部



重大犯罪に立ち向かい、日夜捜査に尽力する

- ・凶悪犯罪
- ・知能犯罪
- ・窃盗犯罪
- ・組織犯罪
- ・鑑識活動
- ・DNA型の鑑定等

茨城を守る8つの組織

交通部



徹底した交通取締等で交通死亡事故ゼロを目指す

- 交通取締
- 交通安全意識向上のPR活動
- 交通安全施設等の整備
- 運転免許証の交付

警備部



社会の治安維持の最前線で人命救助や警備にあたる

- 県内重要施設の警戒警備
- 要人警護
- テロ対策
- 大規模災害発生時の人命救助

警察学校



警察職員としての一步を踏み出す

- 全寮制による集団生活(約1か月)
- 社会人、警察職員としての基礎的教養を学ぶ
- 同期生との絆を育み、「仲間」との連帯感を醸成する

警察署



県民のため治安維持に努める警察官を行政面で支援

- 遺失拾得取扱窓口
- 警察署の支出・歳入全般
- 施設管理
- 署員の給与支給
- 福利厚生
- 運転免許窓口

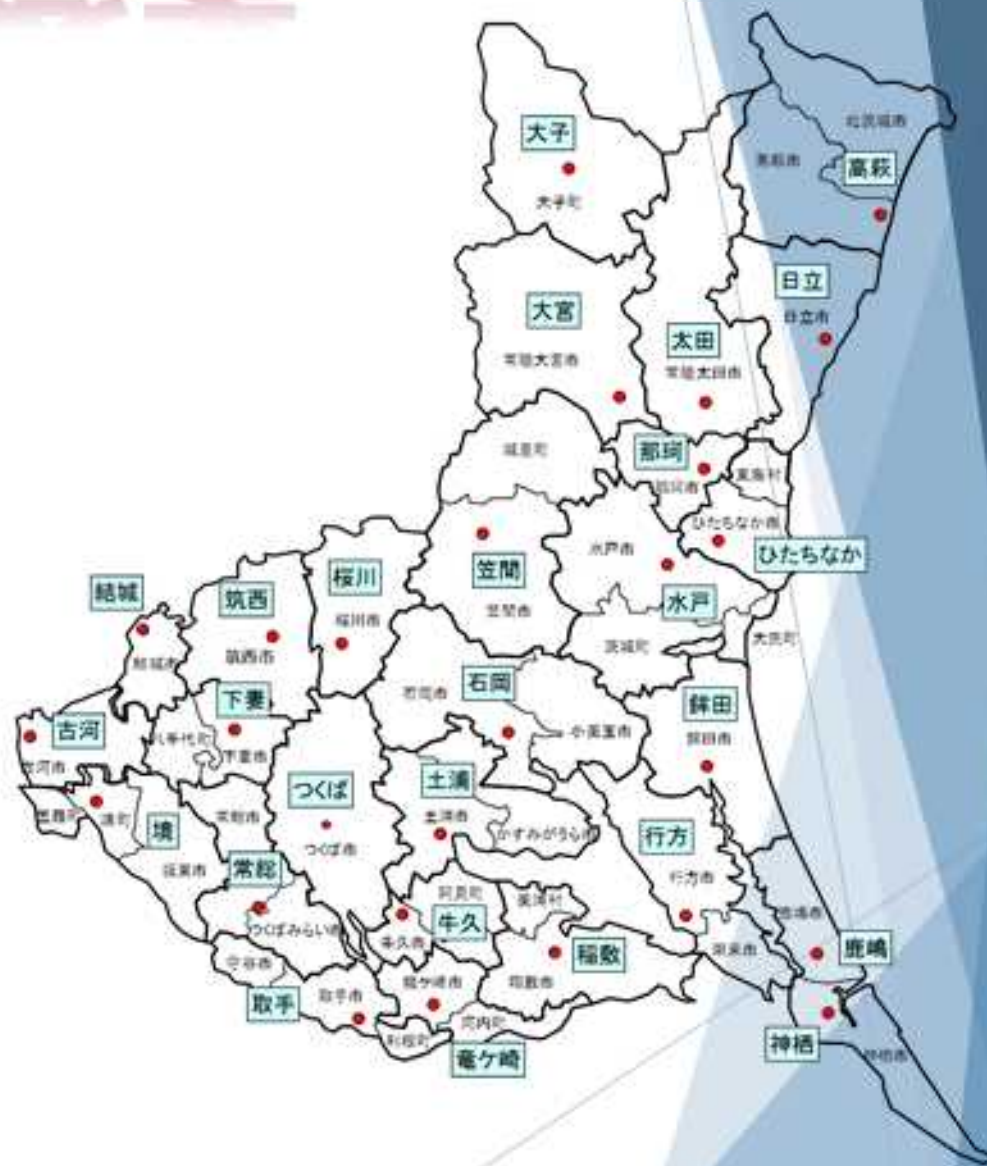
警察署

管轄する地域の警察業務を取扱い、県民のために治安維持に努めます。

茨城県警には27の警察署があります。

本部内の6部門がそれぞれ、警務課、会計課、生活安全課、地域課、刑事課、交通課、警備課となり警察署の業務を支えています。

その他、91の交番、121の駐在所があります。



警察署

27署

91交番

121駐在所

(令和5年4月1日現在)

警察行政職員の仕事①



企画・立案

新しいものを創り出す仕事

～主な業務～

重要政策の企画、長期計画の策定
規則等の改正、組織の再編・整備
勤務制度・勤務環境に関すること
業務の合理化・効率化に関すること



人事・給与

組織の人的基盤・職員的生活基盤を支える

～主な業務～

【人事業務】 行政職員の採用、人事異動、昇任試験に関すること

【給与業務】 職員の給与や各種手当の支給、公務災害補償に関すること

警察行政職員の仕事②

会計

警察活動を支える仕事

～主な業務～

予算の編成及び執行、装備資器材の管理運用
警察活動に必要な物品の調達、職員の給与の
支払い

警察署では、職員の福利厚生、旅費、契約業
務のほか遺失・拾得業務



財産管理

こんな仕事もあるんです

～主な業務～

警察署や交番などの警察施設の維持管理
交通安全施設の予算執行・検査・維持管理



警察行政職員の仕事③



情報管理

情報管理システムのエキスパート

～主な業務～

情報セキュリティ対策

O A 機器の整備

茨城県警察専用システムの開発、運用
及び保守管理



茨城県警察本部採用係

@ibakei_saiyo



茨城県警察本部
採用係のTwitter
や茨城県警察公式
YouTubeを見て
みよう!!

広報・企画

警察活動を広くアピール

～主な業務～

ホームページやSNS等の警察広報
受付・庁舎見学に関すること

警察行政職員の仕事④



鑑識

経験を重ね技術を磨くスペシャリスト

～主な業務～

足痕跡、写真、指紋の3係に分かれて、
警察官が現場で収集した証拠品の照
合・鑑定



免許業務

警察署の顔として

～主な業務～

運転免許証関係事務
車庫証明等許認可事務

給与・勤務条件等

【給与（初任給）】

学歴	大学卒	高校卒
給料月額 (R5.4.1現在)	203,202円	168,434円

- 地域手当6%を含んだ額
- 学校卒業後一定の経験年数がある人は、上記金額に一定額が加算
- このほか扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末・勤勉手当（年2回（6月、12月））等の支給有り

給与・勤務条件等



【勤務時間】

- 午前8時30分～午後5時15分

※ 予算編成や議会対応、担当業務により残業することもあります。

【休暇制度】

- 完全週休2日制（原則土曜、日曜、祝日休み）
- 年次休暇（有給休暇）

1年につき20日（4月に採用された年は15日）

※ 繰り越しにより最大40日

- 特別休暇

夏季休暇5日

結婚、忌引、育児、介護等



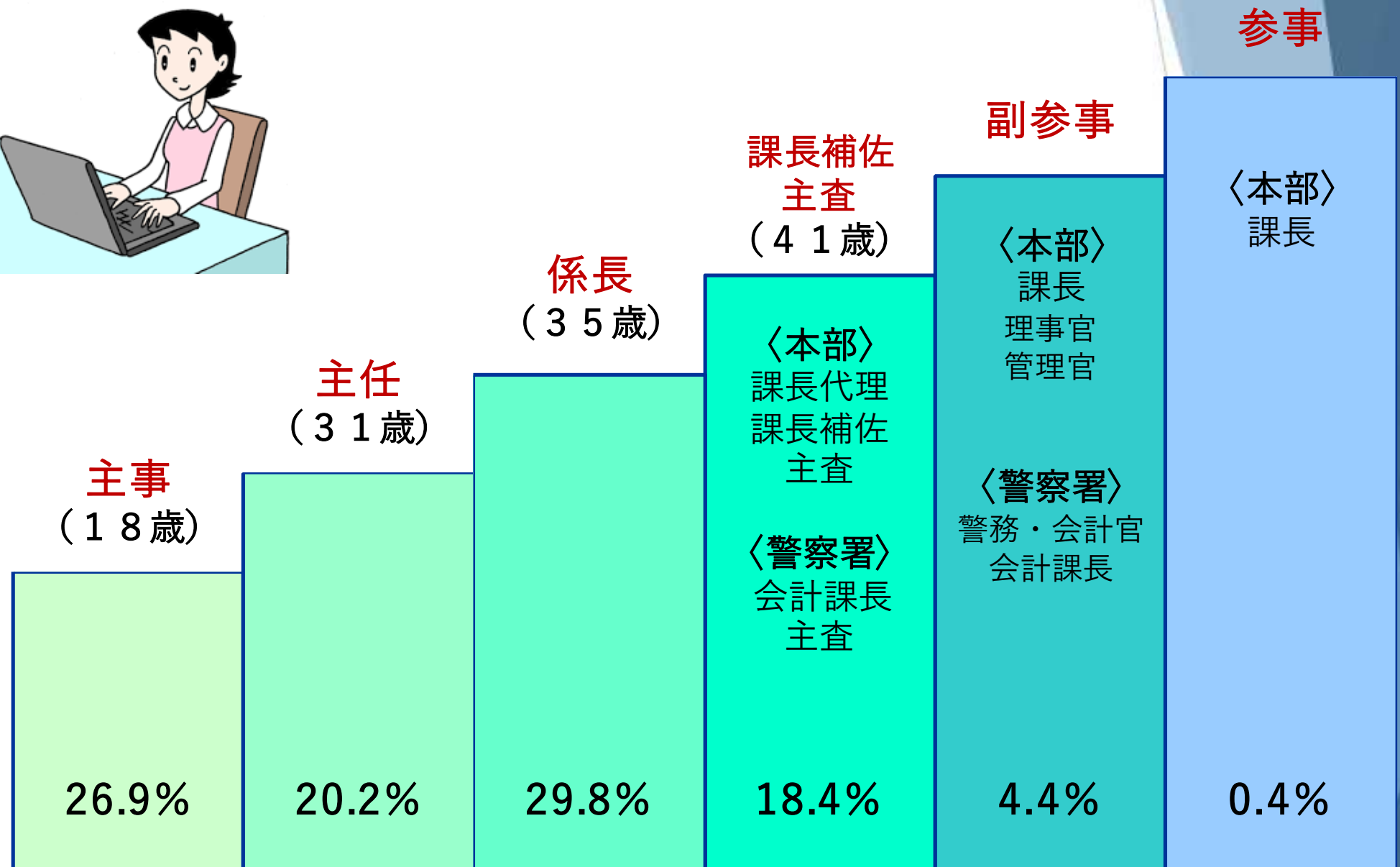
ワークライフバランスの推進に取り組んでいます！
年間休暇目標14日取得を目標として計画的に休暇取得しています！

給与・勤務条件等

【配置・勤務先・昇任】

- 異動に関する自己申告(年1回実施)
 - ・ 希望業務、勤務地など
- 配置換のサイクル
 - ・ 3～5年が目安
- 筆記、面接及び勤務成績による選考に基づき
上位の職に昇任
 - ・ 主事・技師→主任→係長→課長補佐→副参事
→参事

茨城県職員の昇任と役職構成



※下段の数字は、全体の人数に対し占める割合（令和5年4月1日現在）

※階級に記載した年齢は、最短で昇任した年齢を記載

福利厚生

【福利厚生】

● 共済制度

医療・年金給付等



● 健康管理

定期健康診断、人間ドック等

● 宿泊保養施設・レクリエーション

宿泊保養施設、ホテルやスポーツクラブなどの施設を
割安料金で利用可能

● 育児・介護支援制度

深夜・時間外勤務の制限、始業・終業時刻の変更

自己紹介

入庁後の勤務課所・担当業務

■牛久警察署 会計課
(2018年度～2019年度)

■担当業務

- ・遺失拾得業務
- ・旅費支給事務
- ・給与実績支給事務
- ・休暇管理業務

■警察本部警務部会計課出納係
(2020年度～2022年度)

■担当業務

- ・国費旅費審査事務
- ・RPA開発・運用事務
- ・放置違反金財務事務

■警察本部警務部警務課人事第二係
(2023年度～)

■担当業務

- ・警察行政職員の採用、人事異動、昇任試験等に関する人事業務

これから警察行政職員を目指す学生に対するメッセージ

警察行政職員の仕事は、県民の安全安心を守るための重要な職種の一つです。様々な業務に携われるチャンスがあり、常に自分のスキルを高められます。

警察官と協力し支え合いながら県民の生活を守るやりがいのある仕事ですので、興味のある方は是非チャレンジしてみてください。

警察行政職員Q&A

Q 1 採用された後の流れは？

A 1 警察学校に入校し、約1か月基礎的教養等を受けた後、各所属に配置される。配置後は実務や研修等を通して、業務や知識を習得していく。

Q 2 警察官との交流はあるのか？

A 2 各所属に警察官はいるが、一緒に事件事故現場に行って仕事をするのではないが、本部内の所属の中には、警察官と連携して警察組織に関する施策の企画制定などを行う部署もある。また、警察署では、警察官の給与や福利厚生など行政面で支えている。

採用後、昇任や異動等において、警察官へ身分が変わることはありません。



警察行政職員Q & A

Q 3 警察行政職員と知事部局の違いは？

A 3 知事部局：県庁や出先機関等で県行政のあらゆる分野で幅広く様々な業務に携わる。

警察行政職員：警察活動に必要な、予算の編成・執行、施策の企画、推進、条例規則の制定、警察専用システムの開発、運転免許に関する業務、鑑識業務、県内各警察署での遺失拾得業務など、**警察活動に必要な行政等を行う。**



**警察官とは違う立場
(行政面) から茨城県の
治安維持に貢献！！**

**安全安心を実感できる「いばらき」
と一緒に創って行きましょう！！**



茨城県警察